



UAゼンセン 新聞

2854-297号
2025年(令和7年)
3月6日(木)

UAゼンセンホームページ
https://uazensen.jp



全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟機関紙 毎月第1・第3木曜日発行 定価1部50円(組合員の購読料は組合費に含む)

発行所 東京都千代田区九段南4-8-16
TEL 03-3288-3566 FAX 03-3288-7836

UAゼンセン

発行人 西尾多聞
編集人 菊池美保

“組合員が生活向上を実感できる賃上げ実現へ一丸”

先行10組合「満額受結」、正社員(平均)2万15円、パート(平均)83.5円(8組合)

受結 第10号	受結 第9号	受結 第8号	受結 第7号	受結 第6号	受結 第5号	受結 第4号	受結 第3号	受結 第2号	受結 第1号
イオングループ労働組合連合会イオンネクストデリバリーユニオン [正社員]2万2803円(8.64%) [パート]82.0円(7.08%)	アシックスユニオン [正社員]2万2508円(6.01%)	イオングループ労働組合連合会イオン九州ユニオン [正社員]1万7400円(6.13%) [パート]76.4円(7.00%)	イオングループ労働組合連合会白青労働組合 [正社員]1万9041円(7.07%)	イオングループ労働組合連合会イオンデパートコネクスト労働組合 [正社員]2万5500円(7.00%) [パート]80.0円(7.01%)	イオングループ労働組合連合会いばすけと労働組合 [正社員]1万7894円(6.26%) [パート]88.1円(7.00%)	マキヤグループ労働組合 [正社員]2万599円(6.69%) [パート]70.0円(6.55%)	イオングループ労働組合連合会イオンデパートライト労働組合 [正社員]2万816円(6.86%) [パート]95.4円(7.00%)	イオングループ労働組合連合会イオンデパートアカデミー労働組合 [正社員]2万1763円(7.06%) [パート]95.0円(7.06%)	イオンリテールワークスユニオン [正社員]1万7319円(5.34%) [パート]81.0円(7.07%)

※一人平均総額・率。3月5日第2回中央闘争委員会時点



ベア・ベア・ベア、ゴー・ゴー・ゴー

永島会長によるガンパロー三唱で必勝を誓い合った



ヤングリブス 新潟による応援

5日、第4回中央執行委員会でUAゼンセンの組織人員は190万1945名となりました(うち短時間組合員は116万4203名)。また、続く第2回中央闘争委員会では、2025労働条件闘争・賃金闘争に1756組合の参加を確認しています。今次闘争では、相場形成を担うAグループのヤマ場(3月12日)を前に、10組合が先行して満額受結に至りました。このような勢いのもと、同日夕刻、UAゼンセンは「2025賃金闘争・参議院議員選挙 必勝 総決起集会」を開催。会場(有楽町・よみうりホール)・オンライン視聴合わせて1065名が参加し、史上最大の賃上げと7月実施の第27回参議院議員選挙での「田村まみ」必勝を誓い合いました。決起集会の冒頭、永25賃金闘争は2022じた物価上昇に負けな島智子会長は、「2023・2024闘争で生い賃上げの流れを『定着』させる正念場であり、企業規模間や雇用形態間、男女間の格差是正を『加速』させる重要な闘いである。いわゆる『官製春闘』などありえない。組合員一人ひとりの声を集め、労使の真摯な交渉により、早

190万UAゼンセンで まみ・まみ・まみ、ゴー・ゴー・ゴー



万雷の拍手で迎えられ力強く決意を語る田村まみ議員

仲間の声を国政に届け続ける 田村まみ 決意表明

「こうした場に立つたびに多くの皆さんに支えられていることを感じ胸が熱くなります」。田村まみ組織内参議院議員は決意表明の冒頭、感謝を述べた。

国会対応などで仲間達のもとへ赴くのが難しくなるなか、「国会議員として国政に送り出された私がまずやるべきことは政策の実現。3500カ所以上の現場に赴き集めた声を政策に変えて国政に届け、実現させなければならぬ」「国会質問では、本場に皆さんの声を届けられているのか、いつも自問して

着」させる正念場であり、企業規模間や雇用形態間、男女間の格差是正を『加速』させる重要な闘いである。いわゆる『官製春闘』などありえない。組合員一人ひとりの声を集め、労使の真摯な交渉により、早

期・高水準の賃上げを獲得しよう」と呼びかけました。

続いて、Zoomをつうじて、全国8プロックの代表による取り組み報告を実施。ベルジョイスユニオンの日影拓也委員長(北海道・東北プロック)、エコスユニオンの上田久美子副書記(関東プロック)、ウオロク労働組合の那須野紀浩委員長(北陸プロック)、シナノケンシ労働組合の下形伸介組合長(東海プロック)、大阪ガス・カスターリレーションズ労働組合の林晃弘委員長(近畿プロック)、フレスタユニオンの大澤幸司委員長(中国プロック)、大塚汽船高知労働組合の細川大樹組合長(四国プロック)、トアルソン大分

影拓也委員長(北海道・東北プロック)、エコスユニオンの上田久美子副書記(関東プロック)、ウオロク労働組合の那須野紀浩委員長(北陸プロック)、シナノケンシ労働組合の下形伸介組合長(東海プロック)、大阪ガス・カスターリレーションズ労働組合の林晃弘委員長(近畿プロック)、フレスタユニオンの大澤幸司委員長(中国プロック)、大塚汽船高知労働組合の細川大樹組合長(四国プロック)、トアルソン大分



デモ行進の様。左から山健二副書記長、永井幸子副書記長、松浦昭彦参

連合集会 賃上げがあたりまえの社会へ

連合は2月27日、2・27連合全国一斉025春季生活闘争アクション中央集会・デモ行進を実施。UAゼンセン約150名を含む約1700名が参加した。冒頭、主催者を代表し労働者代表として野友子会長が挨拶。集会に先立ち国民民主党・立憲民主党に対して政策・制度実現へ向け要請した旨を述べたうえで、「大手企業は価格転嫁に努める必要がある。中小企業は隠せぬ価格交渉を申し入れよう」と訴えた。

アクションデモでは日比谷公園から八重洲まで行進し、「みんなでつくるー賃上げがあたりまえの社会ー」などの横断幕を掲げ格差是正をアピールした。

お見舞い

このたびの岩手県大船渡市での山林火災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます

このたびの岩手県大船渡市での山林火災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます

8プロックの代表が熱い決意表明

十分の決意を受け、オーマンズを披露し、会場は共感と激励の拍手。闘争へ向けた勢いは頂上は別項参照。

最後に、永島智子会長(九州プロック)から「ヤングリブス(青年組織)新潟が長年のガンパロー三唱で、2025賃金闘争と『田村まみ』必勝を誓い合



労務費の適正な価格転嫁の促進など、派遣・有期雇用労働者が安心して働くことのできる環境整備へ向けて、日本BPO協会と労使メッセージに調印した永島会長（中央右）

U Aゼンセンは新型コロナウイルス感染症拡大の後も、2020年12月2日、派遣・有期雇用労働者に対する感染防止や雇用の維持・確保を目的として、国内唯一の製造業を中心とした人材派遣・請負業者が集まる業界団体である日本生産技能労務者協会（当時）現・日本BPO協会との労使メッセージに調印を実施。その後、派遣・有期雇用労働者が安心して働くことのできる環境整備へ向けて、同協会と定期的に意見交換を行ってまいりました。

3日、U Aゼンセンは、労務費等の価格転嫁を推進し、派遣・有期雇用労働者の労働条件向上につなげるため、日本BPO協会と2度目の労使メッセージに調印。意見交換を行いました（別項参照）。調印にあたり、日本BPO協会の清水竜一会長は、「U Aゼンセンと連携しながら、労務費等の価格転嫁を実現し、派遣・有期雇用労働者の労働条件向上につなげたい」と述べました。

これを受けて、U Aゼンセンの永島智子会長は「労使で立場は異なるが、目指すべき目標は同じ。労使が力を合わせることで、派遣・有期雇用労働者にとって働き甲斐のある職場や日本社会を支えるために必要な『人への投資』を実現できる。引き続き、派遣・有期雇用労働者が安心して働くことのできる環境整備に取り組む」と心じました。

また、意見交換でU Aゼンセンの西尾多聞書記長は「今後も派遣・有期雇用労働者の」と呼びかけました。

派遣・有期雇用労働者が安心して働く環境整備へ
日本BPO協会と労使メッセージに調印

UAゼンセン・ヘルスケア労協共催
“カスタマーハラスメントから医療・介護現場で働く仲間を守る！”

患者・利用者・家族からのカスタマーハラスメントに関するシンポジウム開催



両産別の医療・介護関連業種所属組合や業界団体などから70名以上が出席し、働く仲間を守るために必要なカスタマーハラスメント対策の重要性について意見を交わした

既報のとおり、U A部門の医療・介護関連業種所属組合は、保健医療福祉労働組合協議会（ヘルスケア労協）医療系の労働者が集まる産業別組合。連合加盟。組合員は約1万4000名と共同で2023年10月～2024年1月の期間において「患者・利用者・家族からのカスタマーハラスメントに関するアンケート」調査を実施。現場の組合員から7164件の回答を集約し、本調査結果にもとづき要請活動を展開しています。

2月22日、U Aゼンセンはヘルスケア労協と共催となる「患者・利用者・家族からのカスタマーハラスメントに関するシンポジウム」を開催。医療・介護関連業種所属組合や業界団体から70名以上が出席し、深刻化するカスタマーハラスメントの実態や対策の必要性について議論を交わしました。

現在、深刻化するカスタマーハラスメントが注目されています。U Aゼンセン総合サービス部門の医療・介護関連業種所属組合は、医療・介護現場での患者・利用者・家族からのカスタマーハラスメントの撲滅を目的とし、調査活動や要請活動を精力的に展開しています。今号では2月22日開催のシンポジウムについて紹介します。



医療・介護それぞれの現場の実態を共有し合い、パネルディスカッションで理解を深めました

冒頭、U Aゼンセンの古川大会長代行は、「安全・安心の医療・介護サービスの構築は喫緊の課題となっており、現場で働く組合員が安全・安心して働くことが必要」と述べました。

現場の実態を共有し、安全・安心な職場へ

本シンポジウムでは、カスタマーハラスメントの実態を共有し、必要な対策を講ずるきっかけとして、「医療・介護に関するすべての人が安全・安心して働く」と題したパネルディスカッションを実施しました。

安全・安心の医療・介護現場の実現を目ざす

本パネルディスカッションでは、U Aゼンセンから立川メディカルセンター労働組合の飯田浩二書記長、ニチイグループ労働組合の糸氏氏らが発言しました。

飯田氏：労働条件向上をさまざまな課題について、適宜意見交換を行いながら、連携して対応していきたい。

糸氏氏：種内における連携強化の必要性を提議しました。

一方、糸氏執行委員の研修の実施はもとより、医療事務の観点から現場の事例を共有し、「自動精算機の導入や複数名での対応」など、現場の課題を共有し、対策を講ずる必要があると述べました。

最後に、本パネルディスカッションを受け、U Aゼンセン総合サービス部門の山崎茂治執行委員は、「現在、医療・介護現場に適したカスタマーハラスメント対策マニュアルの作成を進めている。また、田村まみ組織内参

労使メッセージ(概要)

産業構造の変化や少子化の進展に伴う生産年齢人口の減少により、雇用・労働環境が大きく変化するなかで、だれもが安全に安心して働くことのできる就業環境の整備が一層重要となっている。中小企業を含むサプライチェーン全体において、デジタル技術の活用拡大に対応した能力開発の質の向上や機会の拡大が求められており、「人への投資」は不可欠である。「取引の適正化」「労務費の価格転嫁」が確実に実現され、賃上げ原資が確保されるよう、とりわけ、労働者派遣においては、派遣労働者の賃金原資となる派遣料に労務費が適正に価格転嫁されるよう、われわれは共に協力していかねばならない。また、「ビジネスと人権」の観点もふまえ、労働関係法令の遵守と労働者との対話をつうじ、より働きやすい職場づくりに取り組むことが必要である。今後も、BPO協会はBPO・派遣の使用者団体として、U Aゼンセンは派遣労働者・有期雇用労働者等を組織化する産業別労働組合の代表として、相互の対話を深めつつ諸課題の解決のため、派遣労働者・有期雇用労働者等が安心して働き暮らすことのできる社会の構築を旨とし努力を重ねていく。

UAゼンセンマンガ集団同人

わたしの社会戯評



目標勝ち取るまで!!

オーミケンシOB 小寺 広幸

介護セミナーのご案内

参加費無料

UAゼンセン共済事業局は、下記のとおり、「介護セミナー」を開催します。ぜひご参加ください。お申し込みは右記QRコードからどうぞ。

日時 2025年5月13日(火) 14:00～16:10

第1部「老親介護にかかるお金と時間の疑似体験」
(講師：セントワークス株式会社 一之瀬 幸生氏)
第2部「親の介護準備」について考えてみませんか？
(講師：UAゼンセン共済事業局)

※2部終了後にオンライン相談を受け付けます
定員 会場20名・Web参加100名(先着順)
※通信費・交通費は自己負担
締め切り 2025年4月30日(水)まで
お問い合わせは共済事業局(TEL 03-3288-3533)まで

